



ぶらり らいぶらりい



～図書室にはこんな本があります～

No. 190

*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」で取り上げられている「タイピスト」について知りたい。

答) **全資料** → **タイピスト** → 95件該当 (図書: 36件、雑誌: 46件、デジタル写真: 8件、映像5件)

以下のような図書・雑誌があります。

◇ 図書

『中国残留邦人聞き書き集 第2集』(369/C62/2) 閉架書棚

◇ 雑誌

『婦人之友』(051/F64/30-6) 閉架書棚

『新女性』(051/Sh63/38) 閉架書棚

◇ デジタル写真

『日本語のタイプライター(女性タイピスト)等』は検索画面からそのまま閲覧できます。

◇ 映像(「タイピストによるスピードコンテスト」、「日本のタイプライター」等)は5階映像・音響室の端末で閲覧できます。

◆ 1階の入り口付近に実物の「タイプライター」が期間限定で展示してあります。ぜひご覧ください。



※とと姉ちゃんでは、主人公常子の初めての職業が「タイピスト」でした。常子のモデルとなっている大橋^{おおはししずこ}鎮子は「日本興業銀行」で働いていました。当時の「日本興業銀行」をキーワードで検索してみませんか。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

昭和 24 年(1949) 子どもたちとゾウ

ゾウ列車・はな子・インディラ

平成 28 年 5 月 26 日に井の頭自然文化園のゾウの“はな子”が 69 歳の生涯を終えました。“はな子”は戦後初めて日本にやってきたゾウです。

“はな子”がやってきた昭和 24 年は、子どもたちとゾウの話題が多い年でした。

戦争中、空襲時に動物園から猛獣が市街へ逃げ出すことが危険視され、全国各地の動物園で猛獣処分が実施されたため、終戦後、ゾウがいる動物園は名古屋市東山動物園だけになってしまいました。

昭和 24 年 5 月、台東区子ども議会は東山動物園の園長に、上野動物園へゾウを貸してほしいと訴えるとともに、参議院に「象輸入懇請」の請願書を提出しました。

東山動物園から上野動物園にゾウを貸し出すことは、ゾウが高齢な上、輸送が難しいこと等の理由で不可能でした。しかし、何とかして子どもたちにゾウを見せてあげたいという、名古屋市長、東山動物園の園長、鉄道関係者の尽力により、ゾウを運ぶのではなく子どもたちを東山動物園へと運ぶ「ゾウ列車」の運行が決まりました。

6 月 18 日、最初のゾウ列車が運行され、彦根市から 1400 人が名古屋に向かいました。26 日には東京から 1150 人が向かい、その後も全国の子供たちがゾウ列車で名古屋を目ざしました。

そして 9 月 2 日、タイから“はな子”がやってきました。当初、名前は「ガジャ子」（ガジャとはタイの言葉で小ゾウという意味）でしたが、戦争中に上野動物園で処分された「花子」にちなんで「はな子」と名付けられました。“はな子”は上野動物園で 5 年間過ごしたあと、井の頭自然文化園へと移されました。

“はな子”がやってきた 3 週間後の 9 月 23 日には、インドから「インディラ」と名づけられたゾウが上野動物園にやって来ました。インディラが日本に贈られたのは、子どもたちが「上野動物園にゾウが欲しい」と訴えている様子を、インドの貿易商ニヨギ氏が見たことがきっかけでした。ニヨギ氏がネール首相に手紙を届けることを約束してくれたため、子どもたちから 815 通もの作文や手紙が集まりました。それらを見たネール首相が、平和の使者として「インディラ」を贈ってくれたのです。

ゾウ列車の運行、そして“はな子”やインディラの来日は、子どもたちを喜ばせただけでなく、戦後間もなく苦しい生活を送っていた人々に明るい話題を提供しました。

◎参考文献：『祝60歳「はな子おめでとう」2007』(489/T646)閉架
『動物園の昭和史』(480/A38)閉架
『父が愛したゾウのはな子』(916/Y27)開架

—図書室からのお知らせ—

図書室内のハングオールにて「戦中・戦後の動物園」に関する資料を紹介しています。

どうぞご利用ください。

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 190

2016年6月20日 発行/編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1